

① 遠足  
② 歩む  
③ 小麦

④ 昼食  
⑤ 正直

② ア  
② ダイヤモンド

③ 高温高圧

④ A 地中深く  
B 地球の表面

⑤ ウ  
⑥ イ  
⑥ I 2  
II 1

③ ア  
② あじさい

③ し  
④ オ  
⑤ エ  
⑥ イ

⑤ A 笑顔  
B 赤

⑥ 葉っぱ

配点

① 各2点×5=10点

②~③ 各5点×18=90点

<計>100点

1 小学2年生までに学習した漢字から出題している。①「遠足」は運動・見学・楽しみなどのために園児や生徒が遠くに出かけること。しんにょうを正しく書こう。②の「歩」には「歩く」以外に「歩む・歩み」、「歩道・徒歩」、将棋の「歩」、「歩合」といった読み方や使い方ががある。③「小麦」は夏のはじめに実る。④「昼食」は昼ごはん。朝ごはんは朝食、晩ごはんは夕食。⑤「正直」はうそやいつわりがないこと。「直」を「じき」と読むことばには「直筆」「直伝」などがある。

2

1 「元は何でしたか」とたずねているので、「ダイヤモンド」は元々は別のものだったということになる。本文中で何かは何かになった(変化した)というのは「黒い炭素が…無色透明に輝く鉱物へと変化した」の部分にしかない。

2 問1からも分かるように「黒い炭素」が「ダイヤモンド」に「変化した」のである。「無色透明に輝く」ということばもヒントになっている。

3 やみくもに「ここよりあとの部分から」「四字のことば」をさがすのではない。まず「このような条件」ということばが一行前にもあることに気づいてほしい。するとその前に「とても高い温度と大きな圧力」ということばが見つかる。そのうえで「ここよりあとの部分」をさがすと「高温と圧力」という五字のことばが見つかる。しかし指定の字数に合わない。そこで、さらにさがすと「高温高圧」ということばが見つかる。

4 「どこ」とたずねているので「場所」をさがせばよいと見当をつけてほしい。「どこで生まれ」「どこに移動し」たのかと考えてさがしてみると、「場所」ということばが見つかる。さらに、本文中に「移動」ということばがないことにも気づいてほしい。その代わりになることばをさがせば「押し上げられた」が見つかる。

5 ⑤ 前の「これらのごく限られた地域」というのは「ロシア」「アフリカの国々」「オーストラリア」などのことである。そこで「しか」「採ることができない」ので「貴重」なのであった。ア・イでは、どこであっても採れないことになる。エでは、そこでだけ採れない、つまりほかのところならどこでも採れることになってしまう。

⑥ 「限られた地域で(しか)採ることができないため」「ダイヤモンドは貴重」だ ↓ しかも ↓ (採れた中でも)「宝石としての条件を満たす」「ものは」「とにかくめずらしい(めつたにない)ため」「たいへん高価」だ。  
(採れるところが少ない ↓ しかも ↓ 採れたとしても宝石になるものはめつたにない)  
(貴重で高価な理由を、重ねて述べている)

6 I 「すべての」がおかしい。「南アフリカ共和国を始めた」との「始め」は「主なもの」ということである。  
II 「宝石としての条件を満たす品質の高いものは」「とにかくめずらしい」というのは、宝石になれる、質のよいものめつたにないということである。採れたダイヤモンドのうち宝石になれるものより、そうでないもののほうが多いということになる。本文中には書かれていないが、採れるダイヤモンドの大半が工業用になる。ダイヤモンドは非常にかたいので、物を切るのに使われたりするのである。

3

1 「青色のひとつさが」「声をかけたとき」の「マークくん」のようすは本文中に書かれていない。まずそのことに気づかねばならない。そして、何かヒントになることはないかとさがしていくと「マークくんは、なくのをやめて」が見つかる。

2 「青い花」の名前である。落ちて置いて考えればよかった。

3 「くいしんぼう(食いしん坊)」は食い意地が張っている人のことである。すぐあとの「小食」な人の反対である。

4 まず、それぞれがだれのようすのことなのかを確認しなければならぬ。④は「笑顔」なのでイかオではないかと見当がつく。「緑の花」が「青くなれない」原因が「おなかがかすかない」ことなら「運動をすればいい」だけと分かかって「安心」し、「緑の花」のために「よろこんでいる」のである。⑤は話をしている最中にとつぜん「マークくん」が「でんぐりがえり」をはじめたのでびっくりしてまばたきをしているようす。⑥は「ほめたたえる」ようすに使うことばだが、「パレットの上を転がって」「青い絵の具がべったり」ついてしまった失敗のことなので、イの「おもしろがっている」になる。

5 A 直前に「緑の花にも」とあるので、ほかのだけれども同じだったことが分かる。あとの「もどっています」から初めはそうでなかったことも分かる。「なっていた」マークくんが「たちまち笑顔」になったとあった。

B 自分の言うことをすなおに聞いて、けなげにがんばる「緑の花」のことを「かわいいな」と思って好きになり「顔を赤らめた」のであった。話し方から「緑の花」が女子だと分かる。「マークくん」はもちろん男子である。

6 「緑の花」は「さっそく、いっしょうけんめい葉っぱをゆすりはじめた」のであった。